

和みの学び舎

奥沢中だより

教育目標

学びの人 思いの人 育みの人



令和7年6月11日

No.3

世田谷区立奥沢中学校
校長 高林 敏彦

「時間」の過ごし方を考えよう

※二次元コードからHPをご覧ください

校長 高林 敏彦

体育祭が雨のため、学年ごとの実施となりました。残念ではありましたが、どの学年の様子を見ている、クラスで互いに声を掛け合い、力を合わせて大縄跳びや学年種目に取り組む姿が見られました。素敵でしたね。

体育祭実行委員や体育係を中心に準備や練習を進め、応援団やクラス旗がその雰囲気盛り上げていく。そんな奥沢中の体育祭をまた来年に繋げていってもらえたらと思います。

さて、6月です。ほけんだよりに「歯の健康週間」の記事がありました。その中に「6（む）4（し）」にちなんであったので、少し6月の記念日について調べてみたところ、その中に6月10日の「時の記念日」がありました。

時の記念日は、「時間をきちんと守り、欧米並みに生活の改善・合理化を図ろう」と呼びかけ、時間の大切さを尊重することを広めるために、東京天文台（現在の国立天文台）と財団法人生活改善同盟会によって定められました。6月10日に決められたのは、日本で初めて漏刻（水時計）が作られ、鐘で時を知らせた日だからとのことです。

そんな「時間」のことを考えた少し後、先日、図書館である本を見つけたので、借りて読んでみました。

それは、「時間って何？流れるのは時？それともわたしたち？」という本です。「10代の哲学さんぽ」というシリーズの1冊です。その中では、様々な哲学者の「時間」に関する言葉が紹介されています。その中から2つ紹介します。

一つ目は、ヘラクレイトスという人の

「時とは川のようなもの。同じ川で泳いだとしても、その水はもう前と同じ水ではない。」という言葉です。

この言葉からは、今、この時は一度しかこない。二度と戻ってこないから、誰も過去を生き直せない。「大切に時間を過ごすこと」を考えさせられます。

二つ目は、マルセル・ブルーストという人の

「一時間はただの一時間ではない。それは様々な香り、計画、気候がいっぱいにつまった甕（かめ）だ。」

この言葉は、時計の時間と自分が実際に過ごした時間は違う。人によって一時間の中身は違うことを言っています。自分の一時間の過ごし方をあらためて考えたいですね。

6月～7月のおもな予定

| | | | |
|-----|---|------------|----|
| 13 | 金 | 進路説明会 | 漢検 |
| 16 | 月 | 生徒会朝礼 | |
| 18 | 水 | 期末考査 | |
| 19 | 木 | 期末考査 | |
| 20 | 金 | 期末考査 | |
| | | 開校記念日 | |
| 23 | 月 | 到達度テスト（3年） | |
| 24 | 火 | 避難訓練 45分 | |
| | | ハートフルウィーク始 | |
| 25 | 水 | 職員会議 | |
| 7/2 | 水 | 道徳授業地区公開講座 | |
| 7 | 月 | 全校朝礼 | |
| | | ハートフルウィーク終 | |
| 8 | 火 | 専門委員会 | |
| 9 | 水 | 学び舎合同研修会 | |
| 10 | 木 | 生徒協議会 | |
| 14 | 月 | 生徒会朝礼 | |
| 15 | 火 | 学び舎あいさつデー | |

奥沢中の二大行事である体育祭が終わり、来週には期末考査を迎えるこの時期、生徒の皆さんには、ぜひ「時間」について、自身の時間の過ごし方について考えてみてほしいと思います。
(6/9 全校朝礼講話より)

修学旅行

「奥中幕府出陣！金閣寺より輝く思い出を手に入れるべし」のローガンのもと、第3学年は修学旅行に行って参りました。訪問先は奈良・京都です。1年次の河口湖移動教室、2年次の鎌倉校外学習を経て、いよいよ校外学習の集大成ともいえるべき、「修学旅行」です。実施に向けては各クラスから選出された10名の実行委員を中心にルールの確認や事前学習、班行動の計画立案を行いました。学校行事としての活動で「個人で楽しむ旅行」とは一味違って、学ぶことも多かったことと思います。仲間と協力して意見をまとめること、計画を立てたり、調整したりしながら物事を進めること、そういう場面で大切なことや必要なことを実感できた行事となり、大成功だったと思います。当日はお天気にも恵まれ、旅行ならではの楽しい場面、思い出も作ることができ、有意義な時間となりました。



体育祭

校舎改築に伴い、狭くなってしまった校庭。当初から自校以外の会場で開催することになっていた体育祭。快くお貸しくださった「和みの学び舎 東玉川小学校」での開催を目指して、体育祭実行委員会一同準備を進めて参りました。5月31日朝、雨は上がり、何とか実施で



きるのではないかと決意。しかし、準備の途中で大雨となり、続行は断念せざるを得ない状況となりました。予備日である3日。またも雨予報。これまで練習を重ねてきた応援団の演武はぜひとも皆で行い、保護者の方にも見ていただきたいと、体育館で実施。凛々しい袴姿と気合のこもった掛け声、拍手で体育館は包まれました。そして4日、青空の下で体育祭です。しかしながら自校グラウンドでの開催ということで学年別団体種目のみのプログラムです。1時間目は2年生。「大縄跳び」と「台風の日」です。竹棒を持ち、気持ちを合わせて前進します。コーンを回る時は持つ場所によってコツが異なります。2時間目は1年生「大縄跳び」と「はしって！ひっぱれ！」です。ピストルの合図で最初から綱を引く人、一定の距離を走



り、その後合流して綱を引く人。走力も筋力も必要な競技です。いよいよ3時間目は3年生。「大縄跳び」と「大蛇の如く～未来に向かって～」です。クラスの男子女子がそれぞれ一列となり、前の人の腰に巻かれた晒をしっかりと握り、結束してコーン目掛けて走る。折り返しのところからつながったまま一人



一人大地に背中を付け、くぐっていく・・・文章で書くと何ともわかりづらくなりましたが、3年生の力強く真剣なまなざしに心が惹きつけられました。3年生は最後に「玉入れ」も行いました。小学校低学年の頃を思い出し、楽しそうに取り組む姿が微笑ましかったです。

予定通りの実施とはならず、何度も心が折れそうになった状況でしたが、最後まで体育祭に向けて熱意をもって取り組んだことは紛れもなく一人一人の力と思い出になったことと思います。